

# 企業の社会的責任(CSR)

## シャープは、経営理念・経営信条を原点として、社会的責任を果たします

シャープのCSR※1活動の原点は、次の時代のニーズをいち早くかたちにする「モノづくり」により、社会に貢献し、信頼される企業をめざすという創業者の経営の考え方が凝縮されている経営理念・経営信条※2です。

この経営理念・経営信条を具体化するために、変化するステークホルダーの期待や法令などの改正・新設、経営環境の変化を踏まえて、グルー

プ企業の行動原則として「シャープグループ企業行動憲章」を、また役員・従業員の行動規準として「シャープ行動規範」※3を定めています。

- ※1 Corporate Social Responsibility
- ※2 1973年に明文化した経営理念・経営信条は、下記をご覧ください。 <http://www.sharp.co.jp/corporate/info/philosophy/>
- ※3 シャープグループ企業行動憲章、シャープ行動規範の詳細は、下記をご覧ください。 <http://www.sharp.co.jp/corporate/info/charter/cr/index.html>

## グローバルなガイドラインや原則の参照

CSR活動においては、2009年6月に参加した国連グローバル・コンパクトの10原則や、2015年9月に国連で採択された、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会等、2030年までの17の目標が定められた「持続可能な開発目標」(SDGs)をはじめとする、次のような国際標準や

- 原則等を参照しています。
- ・国連グローバル・コンパクト10原則
  - ・ISO26000 (企業の社会的責任の国際ガイドライン規格)
  - ・SDGs (Sustainable Development Goals :持続可能な開発目標)



## CSR取り組み ～社会・環境責任 (Social and Environmental Responsibility) 強化～

経営体制の移行に伴い、CSR推進体制についても新たな「経営基本方針」に基づき見直しを行い、シャープグループとして社会環境責任 (Social and Environmental Responsibility) を果たし、実

現するため、シャープSER委員会 (SHARP Global SER Committee) を2016年12月に設置し、「SER方針」を制定しています。

### SER方針

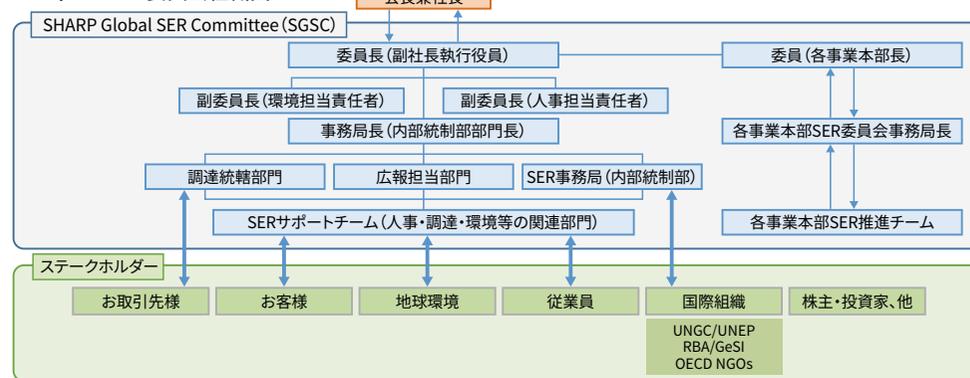
- ① 従業員の権利を重視し、従業員の健康及び安全を確保する。
- ② 事業活動及び製造過程における環境責任を果たす。
- ③ 国際標準、法規制、顧客の要求に基づいたSERマネジメントシステムの構築を行い、運用する。

## シャープSER委員会

SER委員会では、SER施策指針の策定と各事業本部への提案、社外への情報開示、ステークホルダーコミュニケーションなど、シャープグループ全体のSER活動推進についての意思決定を行っ

ています。また、SERに関連する重要事項を審議・決定し全社展開を図るため、各事業本部SER責任者の出席のもと、定期的に「SER会議」を開催しています。

### <シャープSER委員会組織図>



# 企業の社会的責任 (CSR)

## マテリアリティ(重要課題)の特定

シャープの事業活動が社会に与える影響を把握し、ステークホルダーの意見や期待を整理し課題を抽出しました。抽出した重要課題は「社会にとっての重要度(ステークホルダーからの期待度)」と「グループとしての重要度」という2軸の

観点でマッピングして優先順位を付け、9テーマのマテリアリティを特定しました。そして、当社のCSR推進体制であるSERマネジメントのPDCAサイクルに組み込んでいます。



※1 RoHS=Restriction of Hazardous Substances (欧州連合による電気・電子機器における特定有害物質の使用制限指令)  
 ※2 WEEE=Waste Electrical and Electronic Equipment (欧州連合による電気・電子機器の廃棄に関する指令)  
 ※3 REACH=Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals (欧州連合による化学物質の登録、評価、認可及び制限規則)

## SERマネジメントへの組み込み

特定したマテリアリティを具体的な施策に落とし込むため、シャープSER委員会にて、「全社SER重点施策指針」を年度ごとに策定しています。

各事業本部SER委員会では、全社SER重点施

策指針より自本部の事業にとって重要なものを選択し、SER施策(目標、評価指標KPI、対象範囲、実行計画など)を定めて、推進しています。

## <全社SER重点施策指針(抜粋)>

テーマ	施策	対象範囲	SDGs GOALS
労働・安全衛生	健康障害に繋がる長時間労働の抑制	日本国内全従業員	3, 8
労働・倫理	ハラスメントの防止	日本国内全従業員	5, 8, 10
労働・倫理	海外拠点における人権尊重の推進	海外拠点の従業員	8, 10, 16
紛争鉱物	国内外の関連法規制への適合と効率的な対応	該当事業本部	16
全般	顧客からの調査監査依頼への対応	日本国内全生産事業所 連結対象生産子会社	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
全般	サプライヤーSER管理体制の再構築	お取引先様	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
工場環境	廃棄物の排出抑制・再資源化	全生産事業所	6, 11, 12, 13
温室効果ガス	事業に伴う温室効果ガス排出抑制(温室効果ガス排出量原単位改善)	全生産事業所	7, 13, 14, 15
温室効果ガス	製品使用に伴う温室効果ガス排出抑制(当社製品の省エネ化推進)	商品系事業本部	7, 11, 12, 13, 14, 15
RoHS	EU RoHS指令が定める新規制限物質※1の排除	全事業本部	3, 5, 12, 13
WEEE	EU WEEE指令等の各国廃電気電子機器リサイクル法が定める要求を遵守	全事業本部	3, 5, 12, 13
REACH	EU REACH規則が定める高懸念物質※2の管理	全事業本部	3, 5, 12, 13

※1 フタル酸エステル4物質 (DEHP、DBP、BBP、DIBP)。主に、樹脂の可塑剤として使用されている  
 ※2 人の健康及び環境に対して高い懸念のある物質

## ESGインデックスの状況

2018年7月現在、シャープは以下のインデックスに組み入れられています。

- FTSE4Good Developed Index
- FTSE Blossom Japan Index
- MSCI ESG Leaders Indexes
- MSCI ESG Leaders Indexes
- MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- モーニングスター社会的責任投資株価指数